

耐震ゲルマット付き装置固定金具

J-mat

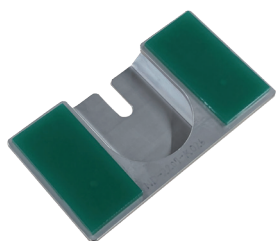


安心・安全・BCP（事業継続計画）耐震／転倒防止のために…

大切な装置の「地震対策」はお済みですか？

大地震*1に耐えられる

耐震ゲルマット



大地震*1に対応！

対象装置ごとに耐震計算を実施
震度6クラスの地震にも耐えられます

すぐれた粘着性！

個体と液体の性質を持つため、優れた柔軟性と粘着力により、上下左右のあらゆる揺れに強い

クリーンルームもOK！

VOC・シロキサン化合物も不検出
床への穴あけが不要なため、粉塵が発生しません

何度も使える！

ホコリやゴミがついても、洗えば元の粘着力が復活
床面を傷つけることなくきれいにはがせる

*1 建築基準法の定義による



※写真の金具は旧製品です

簡単だけど確実に取り付けられる

固定金具



取り付け簡単！

金具を装置の脚部に置き、床に圧着するだけ

建物や施設を傷つけない！

アンカー施工と違い、床面への穴あけ不要！

取り付け強度の確保！

装置の重量・重心位置・地震の最大加速度などを考慮し、金具を専用設計

重量のある装置（適用最大重量 1,000 kg）にも対応する堅牢な構造です

経済的！

アンカー施工技術者の派遣や専用工具の用意が不要です

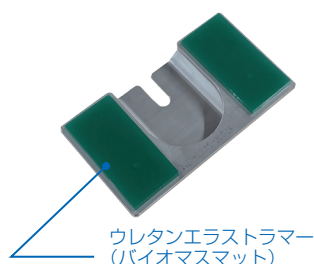


※写真の金具は旧製品です

今すぐできる、簡単・確実・効果的な地震対策を！ JEOL がサポートします！

粘着の原理は？

J-mat の素材は、特殊配合により粘着力・柔軟性・耐久性を大幅に向上させた「ウレタンエラストマー」です。
固体と液体の両方の長を兼ね備え、優れた柔軟性と粘着力で床面と装置にぴったり密着し、地震時の大きな揺れにも追随します。
また、強力な粘着力に関わらず剥がしたあとには何も残りません。



ウレタンエラストマー
(バイオマスマット)

なぜ「専用設計」？

電子顕微鏡に代表される理科学装置は大型で重量のあるものが多く、金具の強度がなくては十分な耐震力を発揮できません。
また、足の形状が特殊であったり振動減衰要素が介在したりと、汎用の金具では対応が難しいケースがほとんどです。
J-mat は、対象装置にあわせ十分な強度を確保しながら簡単取り付けを実現する金具を専用設計し、装置を確実に固定します。



5 mm 厚無塗装 SUS 板

「耐震計算」とは？

重量のある、また重心位置の高い装置を固定する場合には、地震力による移動量や転倒モーメントが大きいため細心の注意を払った設計が必要です。
J-mat は、装置ごとの重量・重心位置・寸法等のデータと、大地震^{*1}を想定した震度 6 相当の地震力を専用ソフトに入力し、必要となるゲルマットの面積と金具の形状を決定します。



アンカー施工と比べてどんなメリットがあるの？

■ 床に穴をあけない

- ・取り付け時に粉塵・振動・騒音の発生がないので、デリケートな精密機器とラボ環境に最適！
- ・床面に穴をあけないので、建物の強度・機能・美観を損ねません！

■ 装置の移設もラクラク

- ・設置床面に残るアンカーボルトの処置や、移設先での新たなアンカー工事が不要！
- ・床面から金具をパール等でゆっくり剥がせば、移設先で再使用が可能^{*2}！
- ・汚れの付着等でゲルマットの粘着力が落ちてきたら、水洗いで粘着力が復活^{*3}！

■ 施工時間が短く、経済的

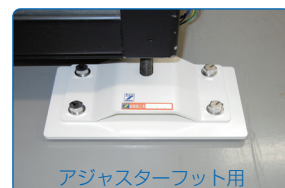
- ・取り付け時に装置の停止や周辺機器の養生等の面倒な手配が不要！
- ・アンカー施工技術者や専用工具の手配がいらず、低コスト！
- ・簡単な取り付け方法により作業時間を大幅に短縮、装置のダウンタイムを最小限に抑えます！

^{*2} 金具の取り外し・再取り付け時は専門技術者による施工を推奨します。
^{*3} 耐震ゲルマットには耐用年数があるため、定期的な点検実施を推奨します。

材料	ウレタンエラストマー
床面材料への適合性 ○…適合 ×…不適合 △…条件により適合	○長尺シート ○塗り床 ○金属素材 (いずれも平滑な面に限ります) ×フッ素樹脂等の撥水性・疎水性物質 ×絨毯等の繊維 ×コンクリート打放し面 ×ゴム ×平滑でない、凸凹のある面 ×油分、水分、粉塵のある面 △P タイル △ポリエチレン、ポリプロピレン △塗装面 (塗膜強度、塗料の性質によります)
適応温度	-20℃ ~ 75℃
耐用年数	5 ~ 7 年 (使用条件によって異なります)
公的機関による試験・認定	・圧縮延伸試験 ・粘着力試験 ・促進耐光性試験 ・絶縁性試験 ・難燃性試験 ・耐加水分解性試験 ・オフガス (VOC) 分析試験 ・汚染性試験 ・RoHS 指令適合
厚さ/色	5 mm / 緑

※耐震ゲルマットはプロセブン株式会社製「プロセブンマット」を使用しています。
※外観・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

装着イメージ



アジャスターフット用



フレームコーナー用



フレームサイド用

※写真の金具は旧製品です

お問い合わせ先

日本電子株式会社 SIS 事業部 先端環境技術センター
TEL : 042-542-1193

このカタログに掲載した商品は、外国為替及び外国貿易法の安全輸出管理の規制品に該当する場合がありますので、輸出するとき、または日本国外に持ち出すときは当社までお問い合わせください。

JEOL 日本電子株式会社

本社・昭島製作所
〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2 TEL : (042) 543-1111 (大代表) FAX : (042) 546-3353
www.jeol.co.jp ISO 9001・ISO 14001 認証取得

▼ 国内拠点



東京事務所 〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目1番1号 大手町野村ビル 業務統括センター TEL: 03-6262-3564 FAX: 03-6262-3589 デマンド推進本部 TEL: 03-6262-3560 FAX: 03-6262-3577
SI営業本部 SI販促室 TEL: 03-6262-3567 FAX: 03-6262-3577 バイオ・セールスプロモーション TEL: 03-6262-3567 セミコンダクタ・ソリューションセールス部 TEL: 03-6262-3567
NMR・ソリューションセールス部 TEL: 03-6262-3575 S/Gローバル本部 欧米部 TEL: 03-6262-3561 中国部 TEL: 03-6262-3562 AP部 TEL: 03-6262-3563 産業機器営業部 TEL: 03-6262-3570
MEソリューション販促室 TEL: 03-6262-3571 SE事業戦略本部 SE営業部 TEL: 042-542-2383 (本社・昭島製作所)

科学・計測機器サービス事業部
総合コールセンター
☎ 0120-134-788



サービスサポート
仙台 TEL: 022-265-5071 筑波 TEL: 029-856-2000
大阪 TEL: 06-6304-3951 広島 TEL: 082-221-2510

東京 TEL: 042-526-5285 札幌 TEL: 011-736-0604
横浜 TEL: 045-474-2191 名古屋 TEL: 052-586-0591
高松 TEL: 087-821-0053 福岡 TEL: 092-441-5829